

山口大学医学部附属病院 薬剤部

新採用薬剤師研修

山口大学医学部附属病院 薬剤部

目次

- 1 山口大学医学部附属病院 薬剤部 新採用薬剤師研修の理念と基本方針
- 2 研修の概要
- 3 個別面談について
- 4 新採用薬剤師 業務チェックリスト

1 山口大学医学部附属病院薬剤部 新採用薬剤師研修の理念と基本方針

《理念》

知識・技術に基づく実践力だけでなく、責任をもって薬剤業務を遂行し、最適な薬物治療の提供に寄与できる薬剤師を育成する

《基本方針》

- 1) すべての薬剤師が身に付けるべき基本的臨床能力と専門性、並びに科学的思考力・実践力の修得を目標とする。
- 2) 将来のキャリアパスなど柔軟に対応した研修を提供する。
- 3) 他の病院や調剤薬局と連携し、患者のニーズに柔軟に対応した研修を提供する。

2 研修の概要

到達目標を達成するために以下の研修を行う。研修期間は原則1年とする。

調剤室	6ヶ月(半日)
注射調剤室	6ヶ月(半日)
製剤室	2.5ヶ月(半日)
DI	0.5ヶ月(半日)
TDM	0.5ヶ月(半日)
病棟業務	6.5ヶ月(半日)
その他	1ヶ月

※その他は薬務、薬品管理、治験、医療安全、手術室、集中治療室、外来化学療法室(薬剤師外来)等が含まれる。

《各部署における研修の概要》

◎調剤室

- 1) 処方せんと疑義照会処方箋の種別
- 2) 処方せんに基づく医薬品の調剤および安全管理
- 3) 適切な鑑査業務の実践
- 4) 院外薬局および患者への対応

◎注射調剤室

- 1) 処方せんと疑義照会
- 2) 処方せんに基づく医薬品の調剤および安全管理
- 3) 抗がん剤や血液製剤など特殊薬剤の調剤と安全管理
- 4) 院外薬局および患者への対応

◎薬務・薬品管理

- 1) 薬剤の発注、検収
- 2) 麻薬および覚醒剤原料の管理

◎製剤室

- 1) 抗がん剤の調製
- 2) 抗がん剤の処方監査
- 3) 抗がん薬の調製監査

◎外来化学療法室

- 1) 患者への指導
- 2) レジメン管理
- 3) 適切な支持療法の提案

◎DI

- 1) 医療従事者からの質問対応
- 2) 医薬品情報の収集と加工

◎TDM

- 1) TDM に関する測定検体種別の理解
- 2) 測定結果の確認と評価
- 3) TDM 解析ソフトを用いた TDM の実施

◎患者支援センター

- 1) 術前中断薬の鑑別
- 2) 院外薬局および患者への対応
- 3) トレーシングレポートの応需と対応

◎集中治療室および手術室

- 1) 患者の評価および対応
- 2) 集中治療室および手術室での注射剤配合変化の対応
- 3) 術後の疼痛管理

◎病棟業務

- 1) 薬物治療についての評価・提案
- 2) 患者情報の把握
- 3) 患者への指導・患者教育
- 4) 医療機関におけるチーム医療の実践
- 5) 病棟における薬品管理

《到達目標について》

- ・各部署において達成すべき項目を各部署の到達目標として設ける。
- ・各部署における新採用薬剤師の教育は職員全員で行うことを基本とする。

《到達度確認について》

各部署の到達目標に基づき、新採用薬剤師の業務達成状況はチェックリストを用いて把握し、必要に応じてアドバイス等を行う。また不十分な業務があれば積極的にその業務を割り振る、または業務枠を設けるよう主査等に進言する。

※研修・到達度確認については『山口県病院薬剤師会 卒後研修プログラム』も参考とする。

《研修のための組織と責任者》

山口大学医学部附属病院薬剤師臨床研修管理委員会

臨床研修を実施・統括し、研修計画の承認及び管理等を行う。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、事務職員等の多職種から構成される。

・研修責任者：北原隆志(教授・薬剤部長)

役割：新採用薬剤師研修を統括し、研修修了に関する主審査を行う。研修指導者と新採用薬剤師メンターを任命する。新採用薬剤師の研修課程を把握すると共に、個々のキャリア形成を促す。

・研修指導者：岡田直人(副薬剤部長(研修担当))

役割：研修が円滑に実施されるよう研修の管理を行う。また定期的に新採用薬剤師と個別面談を実施し、研修期間内に各カリキュラムで定める到達目標が達成できるよう総合的な支援を行う。

・新採用薬剤師メンター：教育担当主査

役割：新採用薬剤師の精神的負担や体調管理に配慮し、必要に応じ助言やフィードバックを行う。

- ・ **研修担当者：各部署の主査**

役割：各部署の主査が、研修カリキュラム、評価方法について定期的に見直し、

研修責任者へ提案する。

3 個別面談について

- ・研修の進捗状況の確認のため、研修指導者およびメンターが3、6、12か月目に面談を行う。
- ・新採用薬剤師自身が研修を振り返り自己評価を行い、その自己評価に基づき、各部署における到達度を確認を個別面談にて行う。



新採用薬剤師教育プログラム (第五版)

4月 5月 6月

7月 8月 9月

10月 11月 12月

1月 2月 3月

翌年4月

11月頃

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての自覚をもって行動する ・医療安全を常に意識して業務を行う ・調剤室、注射調剤室の調剤業務を一通り行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・印鑑を押す ・麻薬調剤、製剤業務を経験する ・病棟業務に必要なTDM・DIの業務を経験する 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿直補助業務開始 ・患者支援センター業務を経験する ・病棟業務から種々の症例を経験して診療科代表的な薬物療法を理解し、その服薬指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟配置 ・当直業務開始 ・学会参加 (日本医療薬学会)
------------	--	--	---	---

教 育 ・ 研 修 内 容

到達度の確認

オリエンテーション
調剤室・注射調剤室

基本的な業務を学び・実践する

到達度は日々の業務の中で随時確認し、全員が目標を達成できるようフォローします！

到達度の確認

山口県病院薬剤師会
新人研修会

麻薬の取扱いについて学び、あらゆる調剤に対応する

製剤室
抗がん剤混注業務トレーニング

TDM

DIセンター

到達度の確認

BLS訓練

継続

病棟業務
代表的な疾患とその薬物療法について学ぶ

患者支援センター

継続した教育・研修

毎週水曜日 薬剤部セミナー
月1回 薬剤部連絡会議・症例検討会
毎日の朝礼・メールで業務上の重要な伝達事項の確認
山口県病院薬剤師会学術講演会・各種勉強会や研修会への参加